

# 7月の主な行事予定

		内 容	放課後遊 び
7月	1日(土)		
	2日(日)		
	3日(月)	防災朝会 委員会 なかよし交流(1,2年)	○
	4日(火)	クリーン作戦(本村前浜 1・2・5・6年、若郷前浜 3・4年) 発育測定(3・4年)	○
	5日(水)	七夕集会 研究授業(1年:5時間授業 その他4時間授業) 避難訓練 発育測定(5・6年) スクールカウンセラー来校	
	6日(木)	都学力向上調査(5年) 5時間授業(水曜時程) 発育測定(1・2年) なかよし交流予備日	○
	7日(金)	食育朝会 クリーン作戦予備日	○
	8日(土)	新島村英語合宿(6年)【NEWS】	
	9日(日)	↓	
	10日(月)	児童朝会 5時間授業(水曜時程)	○
	11日(火)		○
	12日(水)	国際理解集会 通常時程 保護者会(6h 1~3年、放課後 4~6年あしたば学級)	○
	13日(木)	たてわり給食 放課後鼓隊	○
	14日(金)	一輪車講習会(3・4年)	○
	15日(土)		
	16日(日)	莊川小交流(6年)	
	17日(月)	海の日 ↓	
	18日(火)	児童朝会 ↓ 一輪車講習会予備日 クラブ	○
	19日(水)		○
	20日(木)	終業式 大掃除(5時間目) 給食終 水曜時程	○
	21日(金)	夏季休業日始 夏季水泳指導① ラジオ体操(~31日)	
	22日(土)		
	23日(日)		
	24日(月)	夏季水泳指導②	
	25日(火)	夏季水泳指導③ 日の出町交流	
	26日(水)	夏季水泳指導④ 検定日 ↓	
	27日(木)	夏季水泳指導⑤ 判定日	
	28日(金)		
	29日(土)		
	30日(日)	羽黒サマー交流(~8/1)	
	31日(月)		

- 【生活指導目標】 健康を考えて生活しよう。
- 【安全指導目標】 夏の安全な過ごし方を考えよう。
- 【保健指導目標】 夏を健康に過ごそう。
- 【給食指導目標】 旬の食べ物を知り、夏を元気に過ごそう。



## 学びの

No. 112 7月号  
平成29年6月30日  
新島村立新島小学校  
学校だより

### 読書のすすめ

子供たちには読書好きになってほしいです。私は、学校図書館(以前は図書室といいました)は「心のオアシス・知恵の泉」であると話し、何かと学校図書館へ行くことを呼びかけています。

校長 加藤 謙二

平成二十七年二月、東京都は「本を読まない子」がどれだけのいるか調査しました。その結果、東京都全体の小学校二年生のうち約三〇〇〇人、五年生では約四七〇〇人、中学校二年生では約三九〇〇人もいることが分かりました。

「読書は子供の将来を左右する基礎を築くものの一つである」と言われるくらい大切なことなのに、こんなにも本を読まない子供がいることに驚きました。また、本校の子供の様子になかなか学年相応の本が読めない子もいることから、このままではいけないと強く思うこの頃です。そこで、読書の大きな効果を三点、改めてお伝えします。

一 国語力が身に付く。

本には普段は使わない言い回し、子供にとって難しい言葉が出てくることがあります。こうした言葉も前後の文章から推測できると意味が分かります。読書は、このような読解力を育てます。また、知らない単語や漢字を繰り返し目にすることで語彙も豊富になります。

### 二 集中力が身に付く。

本は集中して読まないとい内容が理解できません。集中して自分の世界に入り、物語を読み進めることを通して集中力を養うことができます。

### 三 想像力が身に付く。

読書は、文字を読んで場面の様子や登場人物の心情を想像しなければなりません。こうした想像力を養うことは人の気持ちを理解することにつながります。では、子供の目を読書に向けるにはどうしたらよいのでしょうか。

よく効果的な方法といわれるのが次の方法です。まず、「読み聞かせ」です。読んでもらったことがうれしい記憶や楽しい記憶になるからです。もう一つは保護者が読書をしている姿を子供に見せることです。いろいろなタイプの本を読み聞かせてあげたり、大人自身が読書をする時間をもったりすることが大切です。いずれにしても大人の働きかけが鍵になるということではないでしょうか。

# 五年生移動教室

五年担任 島田 聖也

五月二十四日(水)から二十七日(土)の日程で、移動教室に行ってきました。今年、例年になく静かな海で平和な航海でした。十七名で決めたスローガン「協力し合って友情を深め、たくさんの人に感謝して学ぶ移動教室」を達成しようとする姿が、島しょ会館での生活、公共の場でのマナーや振る舞い、各見学先での学びなどで見られました。事前学習では、初めに行動班・生活班をどのように編成するかを自分たちで話し合い決めました。仲よし組みではなく、普段余り話さない人と組んで仲良くする機会にするなど考えて班編成をしました。全校朝会などの後には、集合・整列・点呼などを早くできる練習もしました。また、各係を割り振り、食事係なら、何日目はどんな言葉を話して「いただきます」を言うかを考えたり、班長・部屋長はそれぞれの夜の会議でどんな視点で振り返りをすればよいかを考えたりしました。最も大変だったのは、移動教室実行委員のメンバーです。出発式・帰校式の司会や挨拶、各施設での挨拶やお礼を事前に考えるだけでなく、体験した後すぐに何を学んだか、どういうことに気付いたかなどを盛り込んで、感謝の気持ちを伝えなくてはならなかったからです。きちんとその役割を果たす姿に成長を感じました。

移動教室は、各施設に行つて体験して「ああ、楽しかった」というだけではありません。見学や体験をして、「何を感じたのか。気付いたのか。そのことをこれからの生活場面でのように活用するのか。」を含めた学びをすることが大切です。各見学先では一所懸命に話を聞く姿が見られました。その様子から少しでも自分のものにしようとする心意気を感じられました。

キツザニアでは、いろいろな職業を体験し、働くとは、仕事をしてお金をもらうことだけではなく、お客様のことを考えたり、暮らしを守ったりすることであり、楽ではないが、やりがいがあることを体験から学ぶことができたという声をたくさん聞きました。他の見学では、誰が作っても同じ品質で仕上げられるようにすることやひとつの記事に責任をもって多くの人が関わって作っていること、限りある燃料・資源を環境のことを考えながら上手に使うことなど、どれも人の想いがあることを学んできました。これからの学校・家庭生活に学んできたことを生かせるように移動教室のことを振り返りながら支援していきたいと思えます。



# 地区音楽会を終えて

音楽専科 浅海 佳代

第六十回新島地区音楽会が、今年も新島小学校で開催されました。子供たちの一生懸命な練習の成果が実り、素晴らしい発表となりました。

低学年は「にんげんっていいな」「汽車は走る」「走れシベリア鉄道」、高学年は「福笑い」「恋音と雨空」を演奏しました。

会場校として、  
六年生は司会、挨拶  
進行、放送などを、  
五年生も会場準備や  
片付けなどで力を発  
揮揮することができ  
ました。

御来校の皆様、あ  
りがとうございました。



# 若郷キャンプを終えて

四年担任 齋藤 真紀子

夏を思わせるような雲ひとつない青空のもと、五月一九・二十日に四年生の若郷キャンプが行われました。この日を迎えるために、四年生はたくさん準備を重ねてきました。

まず始めに取りかかったのは、テントの張り方を覚えることでした。今年度は、五年生からテントの張り方を教わりました。どんな順番で作業を進めるのか、どんなことに気を付けるかなど、一つ一つ丁寧に教えてくれる五年生、そしてそれを聞き逃すまいと懸命に取り組む四年生の表情が印象的でした。その後、学級で、薪のくべ方や火おこし、キャンプファイヤーでの踊りの練習などを行っていきました。それに加えて、それぞれの役割に必要な準備を個々に進めました。そのような日々を過ごす中で、目の前に迫ってくる若郷キャンプに向けて、子供たちの期待はどんどん高まっていきました。それを知ってか、当日の天気は、冒頭に述べたような絶好のキャンプ日和となりました。

当日、子供たちは、テント張りやレク、飯盒炊きさんなどを通して、「楽しい」だけではなく、「苦しい」「辛い」と思えるような経験もしました。それでも、子供たちは、そこから学んだことの大切さについて、作文や会話、日常の中で教えてくれます。

若郷キャンプを終えた四年生は、また一回りも二回りも大きく成長したように感じます。担任として、その成長を応援しつつ、新たな一歩を踏み出す四年生を見守っていききたいと思えます。

